

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 現場目線の企業と大学とのマッチング
授業特別協力者名 : 工藤 謙一 氏
実施日時 : 2022年5月26日(木) 2時限
担当教員名 : 羽田 尚子
授業科目名 : イノベーション論
履修者数 : 72名

実施結果

- ・受講者は70名程度(うちハイブリッド講義の学生1名)。
- ・5月の講義で学んだ産学官連携について、その実務についてご紹介いただくのが目的。中央大学の産学連携推進のための取組について、以下の構成でお話いただいた:
 1. URA (University Research Administrator) の仕事内容。中央大学は6名在籍。調査(研究企画立案)、研究資金の応募推進、広報・報告、知財管理業務、ニーズとのマッチング。
 2. 主な財源: 公的なエージェンシー (JSPS, JST, NEDO)
 3. 産学連携のデメリットとメリット(産、官、学それぞれからの視点)
 4. 社会実装の困難な点(普及のための法的根拠について)
 5. 中大初ベンチャーの例(ソラリス、クラフトワークス)

講師は主に理工系学生を対象に講義をする機会が多いが、理科系の知識のない商学部生向けに内容を調整していただいた。講義では理工学部の研究室の映像が紹介され、他学部の取組についても学ぶ機会になった。学生からは大学リソースの活用に関する質問があった。